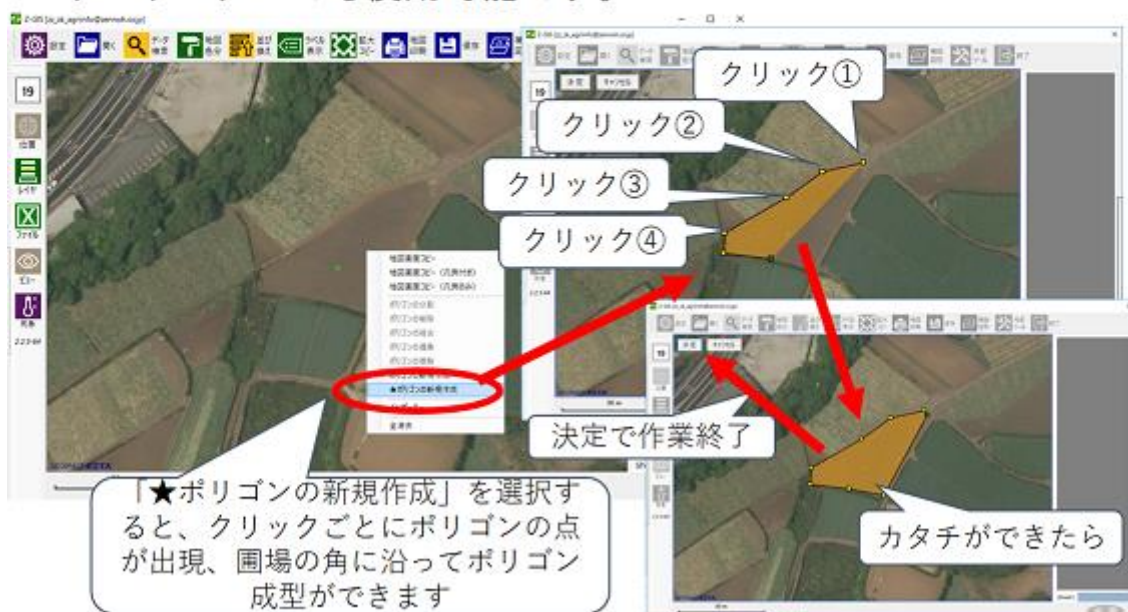


知ってましたか？Z-GISの便利な機能

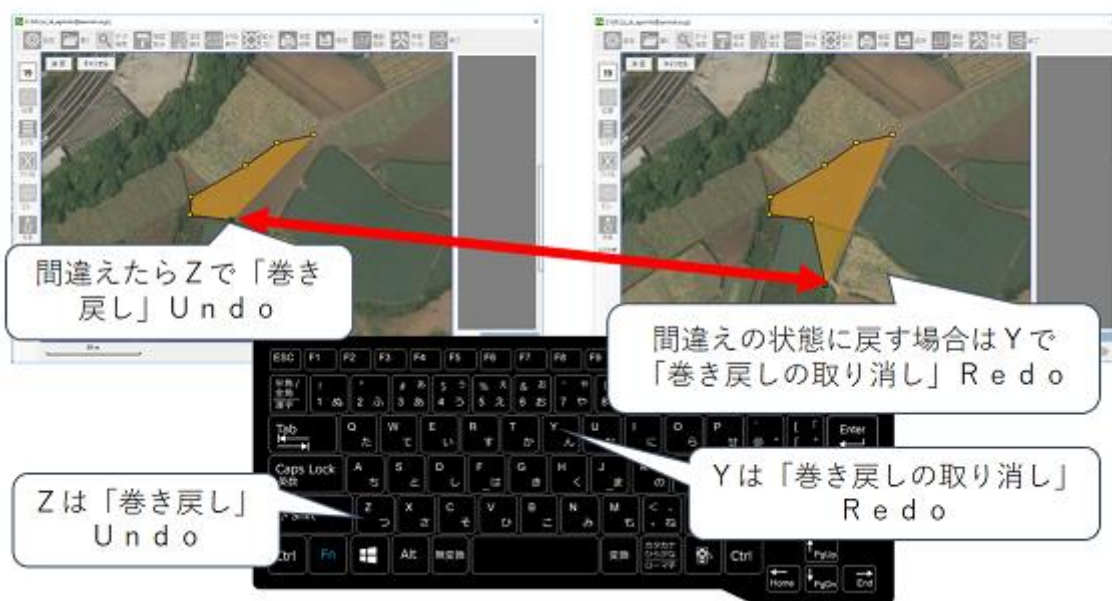
おかげさまでZ-GISは、運用開始から3年目を迎えました。今回は、最近追加した機能で「これは便利！」と利用者に評判の機能をご紹介します。

クリックだけで圃場登録できる

「★ポリゴンの新規作成」を選択すると、圃場の角にそれぞれクリックするだけで、素早くポリゴンが形成できます。インポーターでも使用可能です。



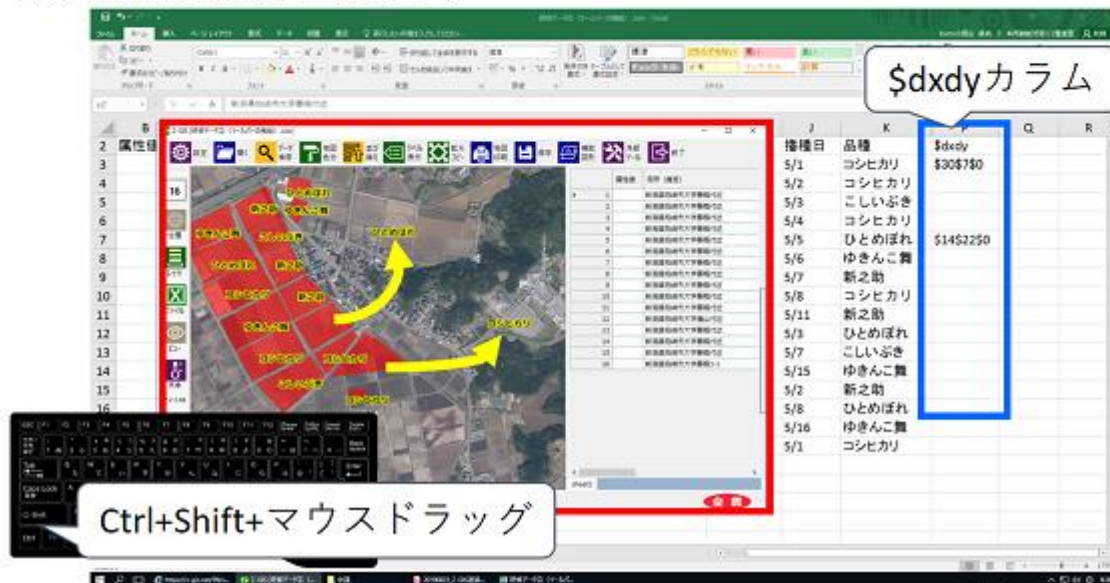
ポリゴンの編集でうっかり間違えた場合「巻き戻し」が可能です。キーボードの「Z」巻き戻しUndo・「Y」巻き戻しの取り消しRedoが可能です。



Z-GISの最近追加した機能

ラベル表示位置を自由に動かし保存ができる

Z-GISのGISエクセルファイルに「\$dxdy」カラムを含ませます。「Ctrl+Shift+マウสดラッグ」動作でラベルの位置を動かします。「\$dxdy」カラムの入ったデータは、動かしたラベルの表示位置を保存できます。



※カラムを含ませるとは、ご使用のGISエクセルに特定の記号を含んだ列（今回は\$dxdy）を追加することです。その際、管理している列の名称に空間が無いようにする必要があります。また、\$dxdyカラムの下は、ラベルを動かした際の位置を記憶するスペースです。

任意の補助図形を取り込める

「_icon\$image_」をA列1行につけた画像リストのシートをZ-GISのGISエクセルファイルにコピー&ペーストすると、任意のアイコンをZ-GISに取り込むことができます。写真もOKです。ホームページのZ-GISの使い方に補助図形のサンプルがあります。<https://z-gis.net/99/usage/index.html>



※ホームページの補助図形のサンプルを、ご使用のGISエクセルのシートにコピー&ペーストするだけで使用できます。サンプルシートのアイコンを自分で作ったアイコンに変更することもできます。詳しくは、マニュアルをご覧ください。

Z-GISの最近追加した機能

データのOR検索ができる

データ検索で「OR」検索ができます。データ検索ダイアログでOR-Aを検索設定したのち、ダイアログをクリックするとOR-Bに変更できます。OR-Bを検索設定し、検索実行をおこなうと、「OR」検索ができます。



※データ検索をおこなうと色分け機能はデフォルトになります。上の画面は、OR検索をおこなった後、色分け表示をおこなった状態です。

PCからポリゴンへの写真の追加・削除

Z-GISのファイルを開きポリゴンを選択したとき、右側の写真表示窓を開き、アップしたい写真をドラッグ&ドロップすれば、写真・イラスト（.jpgのみ）の登録が可能です。写真・イラストはスマートフォンでも共有できます。



2020年5月、Z-GISのダウンロードが17000を突破しました。おかげさまで、たくさんのユーザーにご使用いただいております。これからも、皆様のご意見をいただき、使いやすいZ-GISを目指していきます。